6 アスベスト含有建材の除去

① 石綿含有建材の除去工事

施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（※施工範囲全て　・図示　）
貸与資料（ 黒川消防署 石綿分析結果報告書　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、
クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481 または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定　<9.1.1>
測定点　測定時期、場所及び測定箇所数

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定個所数
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定４		セキュリティゾーン入口	・計　点
・	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置
・	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定８	処理作業後シート	処理作業室内	・計　点
・	測定９	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測　定　４ ・測　定　５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定４　・ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・　※9.1.3(2)(ｱ)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　⊙図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
作業場所周辺養生
⊙行う　・行わない

⊙石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲　⊙図示
工法　・集じん装置付き超高圧水洗工法（100Mpa以上）
・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法
⊙乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・剥離剤（薬品）工法
・超音波ケレン工法
除去した石綿含有仕上塗材の処分
⊙埋立部分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有断熱材等の除去(煙突躯体打込み材)
除去対象範囲　⊙図示　・
除去工法　⊙破砕して除去(ウォータージェット工法)
・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
⊙埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

設計年月日 2026.4	調査者氏名	設計者氏名	工事名称 令和８年度　旧黒川地域行政事務組合消防本部・黒川消防署解体工事		全葉	図面 No 2
			図面名称 特記仕様書 (2)	Scale		